

中央発條株式会社

証券コード：5992

CHUHATSU
CHUO SPRING CO., LTD.



第98期 報告書

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日

CONNECT WITH THE NEXT.

「その技術で次なるステージへ」



技術と情熱が創り出す価値ある商品を未来へ世界へ

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。



代表取締役社長

高橋 隆弘

中発グループGlobal Vision 2025

～ もっと、もっとワクワクしたい明日の笑顔のために ～
中長期経営計画 (2021-2025年度)

- **経営基盤強化** 製品の高付加価値化、SDGs推進、非自動車分野の拡大
- **競争力強化** 世界最適調達・生産体制の確立、デジタル化による生産性向上
- **グローバル展開** 各地域での取り組み (中国・アジア・北米・日本)
- **人財育成** クリエイティブな人財の育成

Q1 | 業績を含めた2020年度の振り返りをお願いします。

2020年度における当社グループ主要取引先の自動車の生産及び販売台数は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、中国を除き前期に比べ、大きく下回る結果となりました。

このような状況のなか、当社グループの当期の業績につきましては、売上高が前期に比べ87億3千9百万円減収(10.5%減)の746億5千5百万円となりました。

損益の状況につきましては、コロナ禍による大幅な売上の減少に伴う付加価値の減少はあったものの、グループを挙げて取り組んでまいりました生産性向上による労務費・稼働費の改善、スクラップ低減等による原材料費改善および固定費の変動費化などの総費用改善活動の成果により、営業利益が前期に比べ14億3千1百万円減益(53.2%減)の12億6千万円、経常利益は前期に比べ7億3千1百万円減益(24.5%減)の22億5千8百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期に比べ3億9千1百万円減益(23.9%減)の12億4千8百万円と第3四半期決算発表時に公表した見込みを上回ることができました。

Q2 | 2021年度の見通しについて教えてください。

国内外の自動車販売は、当社グループ主要取引先の回復に伴い、半導体供給や新型コロナウイルス蔓延の懸念はあるものの、前期レベルを大幅に上回るものと予想しております。

収益面では、資材、資源インフレによる材料費、物流費

の上昇の可能性があります、原価上昇の逆風を跳ね返し力強く収益を向上させていくため、前期実施してまいりましたコロナ禍でスリム化した変動費・固定費を維持しつつ、売上拡大に伴う付加価値増を最大化する施策を実施してまいります。

また、EV・FCV関連製品の開発や自動車以外の分野へのビジネス拡大も進め、現状の主要取引先はもとより新たな取引先からの新規受注分に加え、更なる拡販活動を進めてまいります。

このような将来に向けた取り組みにより、次期の業績見通しにつきましては、売上高843億円（対前期比12.9%増）、営業利益34億円（対前期比169.8%増）、経常利益37億円（対前期比63.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益25億円（対前期比100.3%増）となる見込みです。また設備投資は34億円（対前期比4.04%増）を計画しております。

当社を取り巻く環境は、地球温暖化に端を発する環境問題への対応やデジタル・トランスフォーメーション（DX）などの産業構造の劇的な変革を背景に、100年に一度と言われる大変革期を迎えております。

このような状況の中、次世代に向けて夢を持てる社会と将来の地球環境の保全に貢献するため、当社グループといたしましては「中発グループGlobal Vision 2025」およびそれらを具現化する「中長期経営計画（2021-2025年度）」を策定いたしました。

当社が得意とする技術開発力を向上させることで時代の要請に応える製品群を拡充・拡販させ、また今後市場の成長が見込まれる中国、北米、アセアンでのグローバル供給体制を拡充することで海外生産比率を高め、主要取引先以外の拡販にも力を入れてまいります。

さらにクリエイティブな人財の育成を充実させ、カーボン

ニュートラルの実現に象徴される全地球的な課題を克服し、持続可能な社会づくりに貢献することで更なる成長を続け、2025年までに連結売上1,000億円・営業利益率5%達成を目指してまいります。



Q3 最後に株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

今後、自動車業界ではConnected（コネクティッド）、Autonomous/Automated（自動化）、Shared（シェアリング）、Electric（電動化）と言われるCASE対応が発展し、自動車の概念そのものが大きく変わる変革期を迎えようとしています。当社でもこの時代の流れに追従するため、新機構製品（モジュール化）の開発や、自動車分野で培った技術を活かし、お客様のニーズにお応えし、これまで踏み込んでいなかった未開拓の領域においても、展開を加速させてまいります。

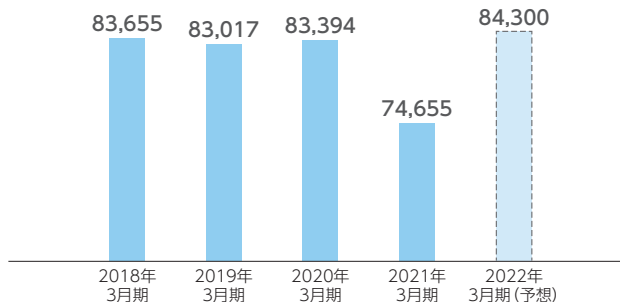
当社はこれからもモノづくりを通して社会に貢献するとともに、すべてのステークホルダーから愛される会社づくりに取り組んでまいりますので、今後とも皆様の変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

決算概要・連結業績ハイライト

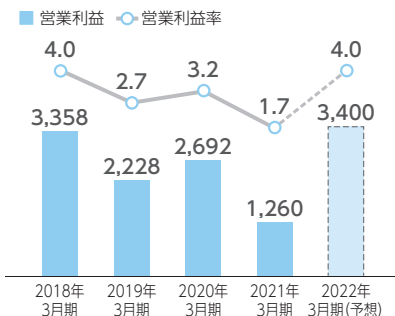
連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	2021年3月期	2020年3月期
売上高	74,655	83,394
営業利益	1,260	2,692
経常利益	2,258	2,989
税金等調整前当期純利益	2,532	2,813
親会社株主に帰属する当期純利益	1,248	1,640

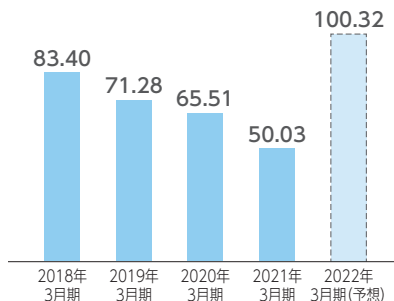
売上高 (単位:百万円)



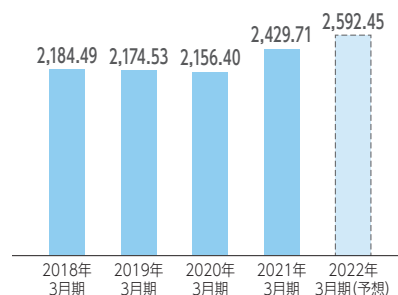
営業利益 (単位:百万円) / 営業利益率 (単位:%)



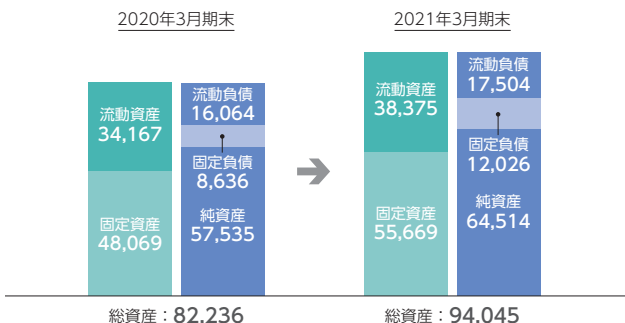
1株当たり当期純利益 (単位:円)



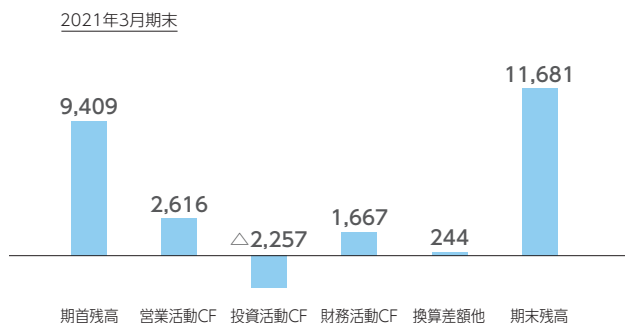
1株当たり純資産 (単位:円)



連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

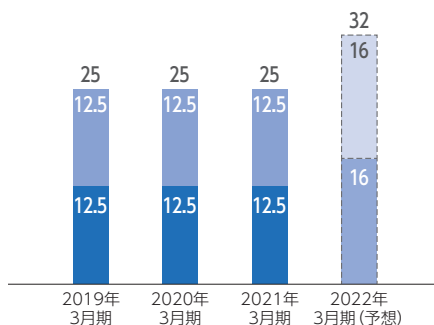


(注1) 2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」「1株当たり純資産」を算定しております。

(注2) 将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。

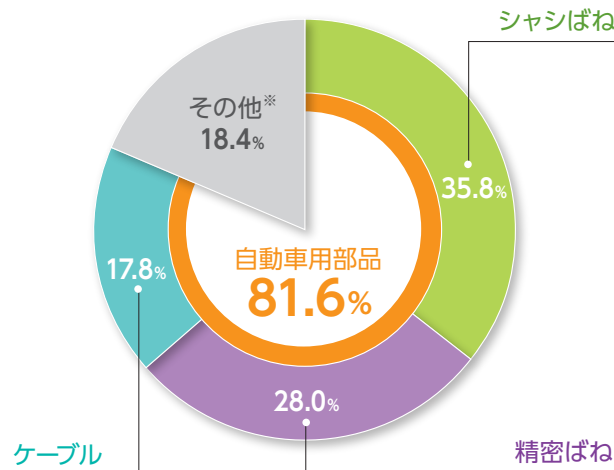
1株当たり配当金 (単位: 円)

■ 中間期 ■ 期末



(注) 2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり配当金」を算定しております。

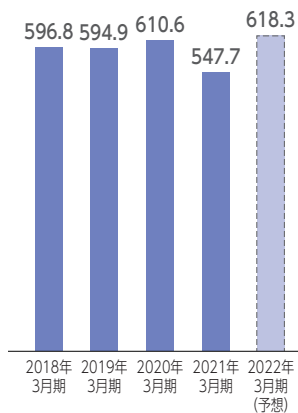
製品別売上構成



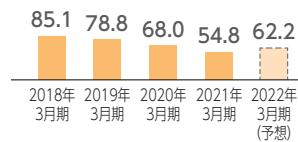
※その他には自動車用品・建築用部品他を含んでおります。

地域別セグメント売上高 (単位: 億円)

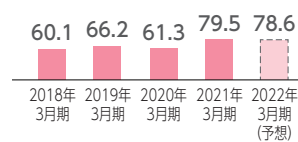
日本



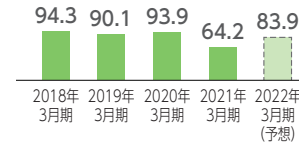
北米



中国



アジア

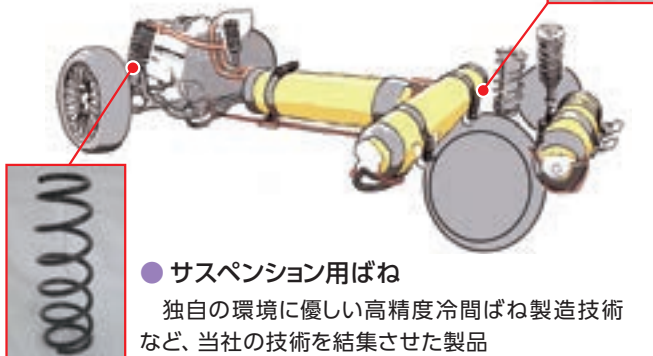


ビジネス拡大への取り組み

● グリーンでサステナブルな低炭素社会の実現を目指して

● 水素タンク固定用ばね

高圧水素タンクと車体との締結ジョイント部に使用される製品。「耐へたり特性」を実現するため、製造工程に工夫を行っている



● サスペンション用ばね

独自の環境に優しい高精度冷間ばね製造技術など、当社の技術を結集させた製品

グローバルスケールでの脱炭素化の波が押し寄せる中、当社の製品がトヨタ自動車株式会社より発売のFCV（燃料電池車）新型MIRAIに採用されました。

また当社技術を結集させたチタン製超軽量サスペンション用ばねを開発し、EV車をはじめとした電動車に求められる軽量化という面で、今後の自動車業界へ大きく貢献いたします。

今後も企業理念である「創る技術を社会に活かす」ためにFCVやEVの基幹部品を担うことにより、グリーンでサステナブルな低炭素社会の実現に貢献してまいります。

ビジネス拡大への取り組み

● 環境に優しい新規工法確立

当社は生産プロセス改革の一環として、低炭素社会への貢献を目指し、従来の熱間加工から、効率のよい加熱処理となる冷間加工の設備を藤岡工場（愛知県豊田市）へ敷設いたしました。

サスペンション用スプリングとスタビライザの従来の加工は、ガス・灯油を使った炉での加熱が主体でしたが、当社では高周波加熱による効率化された電気熱処理へのシフトを進めております。また形状を作る成形工程では加熱した状態で加工する熱間加工から、加熱を伴わない冷間加工へシフトいたしました。

これらの改善により、車1台あたり約80%CO₂削減を実現いたしました。

当社は持続可能な社会の実現に向けてビジネスを通じて貢献することを目指し、今後もSDGsが掲げる開発目標のうち、気候変動への具体的な対策を求める目標13について推進してまいります。

TOPICS

● Medtec Japan 出展

医療機器の製造・設計に関する日本最大級の展示会「Medtec Japan」が、2021年4月に東京国際展示場で開催され、当社は2019年に続き2回目の出展を行いました。



今回は、車載用ケーブルで培ったコア技術を活用して開発した医療機器や、医療機関・高齢者施設から収集したニーズと当社のばねをはじめとした技術をマッチングさせた介護福祉機器を出展いたしました。

鉄道業界に引き続き、新規事業への新たなチャレンジとなります。自動車分野で培った技術とノウハウを活かし、今後も企業理念の「創る技術を社会に活かす」ため、車載製品のみならずその他製品の開発を進め、安全・安心な社会づくりへ貢献してまいります。

TOPICS

● シャンばね新規受注獲得

主要製品での取引は約18年ぶりとなるマツダ株式会社への納入が決定いたしました。受注獲得に合わせ、生産ラインを新設し、納入体制を整えてまいります。

また国内で既に行っている取引を海外へ拡大させ、タイのCHUHATSU(TAILAND) CO.,LTD.で本田技研工業株式会社への納入が決定いたしました。

今後も中発グループがOne Teamとなり、現状の取引先はもとより、新たな取引先からの新規受注分に加え、更なる拡販を進めてまいります。

TOPICS

● 野球部 ― 高松宮杯愛知大会優勝 ―

2021年4月に熱田愛知時計120スタジアムにて開催された高松宮杯軟式野球大会愛知県予選に優勝し、7月に三重県鈴鹿市で開催予定の東海大会への出場が決定いたしました。

この大会に勝ち進むと次は岡山県で開催予定の全国大会です。出場を目指し、今後も厳しい練習を積み重ねてまいります。



会社概要

設立	1948年12月25日
資本金	108億3,720万円
従業員数	連結：4,130名 単独：1,459名
製品区分	自動車用部品 (シャシばね、精密ばね、ケーブル)、 その他 (自動車用品・建築用部品他)
本社所在地	〒458-8505 名古屋市長区鳴海町字上汐田68番地 電話 (052) 623-1111 (総合案内)
主要な事業所	本社工場 (名古屋市長区) 碧南工場 (愛知県碧南市) 三好工場 (愛知県みよし市) 藤岡工場 (愛知県豊田市) 技術センター (愛知県みよし市) 東日本営業所 (栃木県塩谷郡高根沢町) 西日本営業所 (大阪府吹田市)

役員 (2021年6月17日現在)

※取締役社長	高江 曉
※取締役副社長	小出 健太
専務取締役	柴 晴彦
専務取締役	稲垣 昭弘
●取締役	安田 加奈
●取締役	山本 光子
常勤監査役	間瀬 実
◆監査役	山本 秀樹
◆監査役	近藤 禎人
◆監査役	中村 元志
常務執行役員	鈴木 聡
執行役員	米倉 浩司
執行役員	宮原 浩一
執行役員	北浦 啓一
執行役員	宮田 征典
執行役員	桑 唯史
執行役員	矢澤 文希

(注) ※ 代表取締役 ● 社外取締役 ◆ 社外監査役

関係会社

国内 10社	愛知県	中発運輸株式会社 株式会社東郷ケーブル 株式会社セプラス 中発精工株式会社 中発販売株式会社 株式会社リーレックス
	岐阜県	株式会社岐阜中発
	静岡県	株式会社エフ.イー.シーチェーン
	長崎県	株式会社長崎中発
	青森県	中発テクノ株式会社

海外 10社	米国	CHUHATSU NORTH AMERICA, INC.
	台湾	中發工業股份有限公司
	タイ	CHUHATSU (THAILAND) CO., LTD.
	インドネシア	P.T. CHUHATSU INDONESIA
	中国	天津中発華冠機械有限公司 天津中星汽車零部件有限公司 天津隆星彈簧有限公司 昆山中發六和機械有限公司 昆山中和彈簧有限公司 孝感中發六和汽車零部件有限公司

事業内容

当社グループは、次の製品の設計開発、製造および販売を主な事業としております。

住宅



キャブレックス

医療・ヘルスケア



医療機器向けケーブル



車椅子昇降ステップ

鉄道

パンタグラフ用大型引きばね



レールクリップ

自動車



シャシばね(コイルばね)



精密ばね(渦巻ばね)

決議通知・株式分割のお知らせ

2021年6月17日(木)開催の当社第98回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されました。

報告事項

1. 第98期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第98期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）計算書類の内容報告の件

決議事項

第1号議案 取締役6名選任の件

本件は、原案どおり取締役として高江 暁、小出 健太、柴 晴彦、稲垣昭弘、安田加奈および山本光子の6氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、安田加奈および山本光子の両氏は社外取締役であります。

第2号議案 監査役2名選任の件

本件は、原案どおり監査役として山本秀樹氏および間瀬実氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、山本秀樹氏は社外監査役であります。

第3号議案 補欠監査役1名選任の件

本件は、原案どおり補欠監査役として三浦紀文氏が選任されました。

新社外取締役ご紹介



新社外取締役 山本 光子氏

当社は6月17日付で新社外取締役として、山本社外取締役を迎えました。

労務・人事全般についての高い見識を有している点を踏まえ、今後当社の労務に対して客観的・専門的な視点から有益なご意見やご指導をいただけるものと期待しております。

略歴

1983年3月 ウーマンスタッフ株式会社（現パーソルテンプスタッフ株式会社）入社
1985年4月 同社取締役営業本部長
2019年7月 同社取締役
2020年7月 同社相談役（常勤）現在に至る
2021年6月 当社社外取締役 現在に至る

株式分割のお知らせ

当社は2021年4月1日をもって株式の分割を行いました。

1単元当たりの投資金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整備し、当社株の流動性向上を図ることを目的としております。

分割により増加する株式数につきましては、以下の表をご参照ください。

株式分割前の発行済株式総数	6,385,599株
今回の分割により増加する株式数	19,156,797株
株式分割後の発行済株式数	25,542,396株
株式分割後の発行可能株式総数	80,000,000株

詳しい情報につきましては、当社WEBサイトをご参照ください。

≫ <https://www.chkk.co.jp/>

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告方法	電子公告 ※決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書は、金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）にて開示しております。
株主名簿管理人（連絡先）	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
単元株式数	100株
証券コード	5992
上場取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所

ホームページのご案内

当社に関するより詳細な情報については、当社ホームページをご覧ください。企業活動や製品に関する情報など、幅広く情報を提供しております。またIR情報ページには、業績ハイライトやこれまでの決算短信を、CSR情報ページには環境への取り組みなども掲載しております。

<https://www.chkk.co.jp/>



▲ トップページ



▲ IR情報ページ



▲ CSR情報ページ